

学校関係者の評価

1. 「個性や能力の伸張を図る主体的・対話的な学習の充実」についてご意見ください。

学習過程を重視する評価は個々の生徒の能力を伸ばすことにつながります。自由参加の研修会も良い取り組みだと思います。

個性、能力が伸長したかどうかを評価することや、検証することを考えすぎぬよう、それでいて、生徒に対して、否定せずに、でも、何とか教え、学習させることが、大変ですが、大切だと思います。

希望する進路が多様化しているなか、少人数教育の特色を活かして、一人一人の個性や能力をのばすよう生徒の指導の充実に努めてほしいです。

子供の個性は、自己肯定感の形成、自己表現の促進、学習と成長の刺激に重要な役割を果たすと言われています。ICT(情報通信技術)の利活用も積極的に進められていることに期待しています。

学校教員全体として、部活動を頑張っている生徒に対しては、その分野だけでなく、心の成長なども大切にして見守る姿勢がみられる。

また、語学などに興味の幅が広がる生徒には、留学や英検、英語コミュニケーション、作文・小論文対策の授業だけでなく、相談対応など十分に配慮して頂いているといえる。

2. 「生徒の多様化に対応する健康・安全教育や教育相談活動の充実」についてご意見ください。

SSWの導入はとても評価できます。リテラシー教育はぜひ継続してください。

先生にとって、たいへん負担の大きいことですが、生徒一人一人との対話や保護者とのコミュニケーションの場をつくり、悩み、事情、実情を知ってあげることが何よりも大切と考えます。

生徒の実態を把握することは大変難しいですが、学校全体で情報を共有し、困難を抱えている生徒と向き合って良い方向へ導いてほしいです。

文部科学省の学校での安全教育は次の3つの柱からなっています。1生活安全 2交通安全 3災害安全であり複雑化、多様化する学校の課題解決や教育環境充実を図るためとされており、現在の取組みを進めるため地域コミュニティスクールの導入を考えてみてはいかがでしょうか。

高校生活の中でやらなければならないこと、興味の方向性も多様化する中、個人的な悩み、家庭内での悩み、学校生活での悩みなど様々である。

アフターコロナ、ICT化、多様性が重要視される世の中、何が正解なのかも分からない時があるが、教員、保護者、生徒、それぞれの常識の違いや世代間格差もあり、歩み寄りの気持ちを持たなければ、教育活動が充実しているとは言えなくなるだろうと思う。

3. 「育てたい資質・能力の育成」についてご意見ください。

ICT支援員の導入は教員の負担軽減の為にとても良い事だと思います。生徒による授業評価、教員相互の授業参観は生徒・教員双方にとって、有意義な経験をもたらすのでは、と思います。海外との交流が広がるのは生徒にとって素晴らしい経験です。

今日、たいへん精緻な育成プログラムがあることと、想像いたしますが、海星学院の諸先生の間で、シンプルな育成方針と授業の進め方のポイントが共有されていることが重要だと思います。

授業、教育活動を通して主体性や判断力等身に付けるよう指導し、卒業後に活かすことが出来る人に育ててほしいです。

1 学びを人生や社会に生かそうとする。2 思考力、判断力、表現力。3 生きて働く「知識・技能」以上の3点が基本と思うが、取組みの中でアメリカの姉妹校提携校への留学は大変な関心を持っていますし、今後とも国際理解教育活動の充実を目指してほしい。ノックスビルへの語学研修は今後も継続してもらいたい。

探究活動、教育が充実しており、グループワーク、プレゼンテーション、作文を書く機会が多く、教員の指導力が高いと感じている。そのため、生徒の考えや能力を引き出して貰える機会が増え、高校卒業後にも役立っていくものと感じている。

4. 「3年間をも見通した計画的な進路指導の充実」について、お意見ください。

キャリア教育は授業以外の様々な視点を生徒に気付かせる、良い経験だと思います。

広い視野で進路指導に努められておられると評価いたします。生徒一人一人の希望また、事情 実情、能力を汲み取り、(把握して)親身になって指導することを本校の特色としてほしいと願います。

卒業後の進路に向けて入学時より個別に指導していると思います。

① 高校生活の目標立てる、②なりたい自分の特性を知りそれをどのように生かすかを考える、③ 入試に対する理解を深める 4 学習態度を見直す、④学習態度を見直す、⑤志望校の決定と受験科目を考える、以上を基本に計画的な進路指導、教科指導図る。

1年生から希望進路を聞いて助言を下さったり、日々の生活の中で興味が別の方向に行き進学分野変更などにも丁寧に対応して頂けており、大変有難いと思う。

5. 「地域や保護者との連携を重視した教育活動の充実」についてご意見ください。

PTA・高砂中央町内会との連携は、広く学校を知ってもらうためにも良い活動です。

継続に取り組んで来た地域の教育資源の活用や、文化交流など、良い伝統として、生徒に元気を与えるものと大変うれしく思います。

クルーズ船のボランティアは、外国の方々との交流のみならず、地域との交流になっています、多くの体験、人との出会いが、より大きな人に育ててくれると思います。

学院祭では、PTAの協力があり賑わいがありました、玄関のプランターも出入り時に癒しになります。

1. クルーズ船の通訳、文化交流ボランティアへの参加、協力は室蘭市の誇りで 今後とも大型船の室蘭寄港も予定されますので、貴校の協力を期待してます。

2. 室蘭市では、人口減少や高齢化で町会活動が計画通り進まない状況にあり地域町会と連携し、道路の清掃、花植え、冬の除雪作業等の協力を期待してます。

3. 室蘭市で導入計画が進む洋上風力発電について、MOPA(室蘭洋上風力関連事業推進協議会)活動の内容説明や組み立て工程の見学を授業の一環として取り入れたらいいのではないかと思います。

学院祭ではPTA役員だけでなく、多くの保護者の力添えにより、地域へ一般開放が実現し、生徒も来客者も一緒になったことにより学院祭が活気づいた。

生徒がいて、保護者がいて、教員がいて、共に協力し合っていること、近隣町内会との清掃活動や雪かきレンジャーなど様々なボランティア活動があることで、充実した教育活動が行われていると感じている。

6. 「異学年相互の交流やボランティア活動等の工夫」について、ご意見ください。

様々なボランティア活動、素晴らしいと思います。ぜひ。継続してください。

異学年相互の交流、又、ボランティア活動は、大変に大切なことである。と生徒一人一人がしっかり感じる事ができたなら、それで充分意味のあることと思います。安全に、けがをせず、心豊かに、愛をもって、無理のない明るい活動を。

異年齢との交流、多くの社会貢献を通して、授業では学ぶ事のできない事を体験していると思います、今後も大いに参加し継続すべきです。

学校での部活動から異学年との交流や、他校との交流を導入することは意義あることだと思います。

ボランティア活動を通じて、異学年との交流する機会も多い。

外国船入港時の通訳ボランティア、ユネスコスクール、ロータリークラブの活動にも参加して、学生の意見を伝える機会などもあり、ボランティア活動の質が高く、調整・引率して下さる教員、学校に感謝している。